もっともっと住みよい都市（まち）を目指して

「住んでよかった」「住みつづけたい」「住んでみたい」と実感できるまちに。
「古河がいちばんだ！」と誇れるまちにしていきたい。

古河での思い出

市長：古河大使として、ふるさとのＰＲ活動をしていただきありがとうございます。

渡辺：テレビ番組で古河の事は随分ＰＲしているよ！　自分のふるさとだし、大好きだし、疲れると帰りたいと思う。そんな場所だからね。

市長：高校を卒業して、古河を離れて38年経つけど、今と昔ではまちのイメージは変わったかな？

渡辺：昔と比べると市街地が広がったと思う。お店が増えてまちが明るくなったと感じるな。

市長：平成17年に市町村合併をしているから、まちとしての広がりは昔と全然違うと思う。

　渡良瀬川のある風景は昔と変わらないけれど、インフラが整備されてお店が増えているからまちとして明るくなったね。

渡辺：新三国橋は無かったものだし、新たなインフラが整備され、すごく便利になったよね。

　時代が流れても、自分の中で消えない思い出もあって、駅前のレコード店で初めて買ったアイドルのレコードが榊原郁恵だった（笑）。事前予約して特典のポスターをもらったんだ。

見慣れてしまっている古河の風景も、
実はすごく魅力的なんだってことに気付いてほしい。

離れて気付くふるさとの魅力

渡辺：古河を離れてみて、大人になって感じるのは、歴史的に意義のある場所だったんだということ。

　古河公方（くぼう）や土井利位（としつら）の「雪華図説」のほかにも歴史的に重要なことがたくさんある。

市長：足利将軍家と同じ血筋で、関東の将軍という位置付けがあったのが古河公方というのは意外と知られていない。

　江戸時代に雪の結晶の研究をしていたのが土井利位だというのも歴史的には非常に興味深いことだと思う。ぜひ、大河ドラマで渡辺徹主演の古河公方を見てみたいね。

渡辺：大河ドラマには、今まで6～7本出演しているけれど、「時代的にこんな太った人はいない」と毎回言われてしまうよ（笑）。

　古河というまちにはとても魅力があって、義母からも「古河はすごく雰囲気の良いところだね」と言われる。そこに住んでしまうと気付かないかもしれないけれど、外から見るといいものがたくさんあるのが古河だと思う。

市長：古河市は、商業・工業・農業のバランスが良いまちだと思う。お米なんかは帝国ホテルに卸している農家もあるし、バラやほおずきも有名なんだよね。浅草のほおずき市のほおずきの多くは古河産だっていうくらいなんだ。

渡辺：全国各地からいろいろな農作物をいただくけれど、古河の野菜や米はすごくおいしい。いろいろな地域のものを食べ比べてみるから分かるけど、本当にうまいと感じる。

市長：それと、山崎製パンやヤマザキビスケット、三越伊勢丹フードサービス、ミヤレー、三越伊勢丹にギンビス、ジャパンフリト製菓などたくさんの製菓工場があるのは、他のまちにはないことで、古河にしかない特色だと思う。

▲江守徹さんと共演する渡辺徹さん

渡辺徹 プロフィール

古河第一小学校、古河第一中学校、古河第三高等学校を卒業後、1981年『太陽にほえろ！』で俳優デビュー。
現在も文学座に所属し、舞台を中心にドラマ・映画・バラエティ・司会・ナレーションなど幅広く活躍中。
近年は、大学客員教授として教鞭（きょうべん）を執るなど、活動の場はさらなる広がりをみせる。